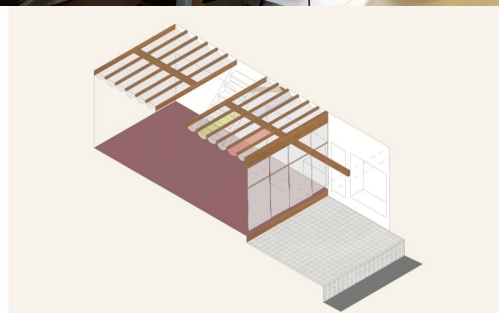


まちに開いた交流の場のデザイン

Designing an interactive place open to the community



大学生と地域の人の交流の場の創出

Facilitating the exchange between university students and the locals

私たちが活動の場とする「CASACO」は二軒長屋を改修し、2階をシェアハウス、1階をを地域に開いた場として2016年4月にオープンしました。このプロジェクトではこのCASACOの一階を活用して、この場所が立地する東ヶ丘の人々や大学生などの様々な人が交流することができる場所の創出の方法を考えます。

今年度は定期的にミーティングを行うとともに、所属する学生でCASACOが位置する地域周辺のまち歩きの実施と昨年引き続きCASACOの断熱改修のための実験を行いました。ミーティングでは活動が制限される中でも大学もしくはCASACOにおいて、今後の実施を考えるイベント等の話し合いを行いました。まち歩きでは学生を複数のチームに分け、CASACO周辺の地形の調査や文化施設へ赴き、その内容をまとめるとともに、今後企画するであろうイベントにどう繋がられるかをそれぞれで考えました。断熱改修のプロジェクトでは昨年から引き続いて、CASACOの開放された1階のスペースをそのまま維持したまま、寒さ対策として効果的な断熱の方法を考えました。開放的な空間の維持のために採光性を高めながら断熱を図ることができるに布の利用を想定し、12月には様々な種類の布を用意してCASACOでそれぞれの布の特徴を調べるための実験を行いました。

来年度以降は今年度の活動を活かしてイベントの企画を考えています。まち歩きを通して考えたことや、大学で専攻している内容を基に大学生と地域の人が交流を図れる場所の創出を目指します。

- 学生：18名（石井優歩、大野大河、高階寛之、石井大治郎、高井優紀、高山友美恵、早川葵、山田伸希、安藤小春、市瀬日咲子、岩本なつみ、柴田亜由子、須永柊、谷本花野、長谷川千奈、宮沢七菜 / 担当教員：江口 亨
- 連携・協力：CASACO（カサコ）
- 活動地域：横浜市西区東ヶ丘